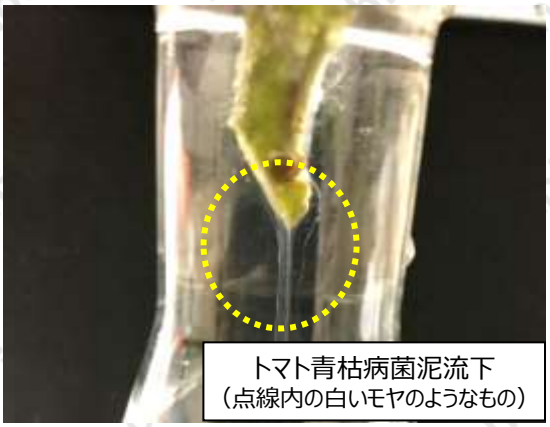
イノチオ診断室　病害虫情報

2021年度　第6号

かいよう病と青枯病が併発し、見分けの難しい持ち込みが増加しています！

かいよう病　葉の症状

導管褐変（併発の検体）



トマト青枯病菌泥流下
（点線内の白いモヤのようなもの）

	かいよう病	青枯病
症状	▹ 葉縁から乾燥して**上方に巻き上がる** ▹ 葉脈間が黄化し、褐変枯死する ▹ 維管束が淡褐色に変色し、空洞化する ▹ 茎を水に浸すと、**少量の**白濁液が流れ出ることもある	▹ 日中青い葉のまま萎れる ▹ 導管褐変し、切り口から汚白色の汁液が染み出る ▹ 茎を水に浸すと、**白濁液が流れ出る**
発生の仕組み	▹ **土壌(被害残渣と共に土壌中で生存)、種子伝染** ▹ 病原菌は根や茎の傷口から侵入 ▹ 降雨や風などで、健全株へ伝染する	▹ **土壌(被害残渣と共に土壌中で生存)、汁液伝染** ▹ 病原菌は作業中にできた根や茎の傷口から侵入 ▹ 水とともに移動し、健全株へ伝染する
多発条件	▹ 過去の発病圃場(土壌・培地中の残渣に菌が生存) ▹ 降雨日多い時期、25～28℃で多発 ▹ 盛夏期には一時病勢は停滞する	▹ 過去の発病圃場(土壌・培地中の残渣に菌が生存) ▹ 夏期に発病しやすい (地温20℃以上で発病、25～37℃で多発) ▹ 排水不良
対策	▹ 被害株の圃場外への除去・処分 ▹ 種子消毒(乾熱または温湯)をする ▹ 使用資材の消毒、太陽熱や熱水による土壌消毒 ▹ 換気や送風によって、施設内の湿度を下げる ▹ 耐病性の台木を用いた接木栽培 ▹ 芽かきや収穫など管理作業に使用した刃物の消毒	▹ 被害株の圃場外への除去・処分 ▹ 排水対策・センチュウ防除 ▹ 耐病性の台木を用いた接木栽培 ▹ 太陽熱や土壌くん蒸剤による土壌消毒 (クロルピクリンくん蒸剤・バスアミド微粒剤) ▹ 芽かきや収穫など管理作業に使用した刃物の消毒 ※農薬はラベルを確認後ご使用ください。

かいよう病と青枯病検査の実施可能です！

かいよう病や青枯病が疑われる場合、イムノストリップキットを用いて検査することができます！
その他、診断内容、持ち込み方など詳細については下記アドレス・番号までお気軽にご相談ください。

yukie.tanaka@inochio.co.jp（診断分析課　田中：080-4754-3769）

気象庁1ヵ月予報

気温：低い～平年並
降水量：多い
日照時間：少ない

WEBでも診断室情報をチェックできます！

防除チラシも作物別毎月更新しています！